

事務事業評価シート

評価対象年度 平成 20 年度

【事務事業の基本的事項】

事 務 事 業 名	目指せ “ 元気な担い手 ” 農業夢プラン応援事業					
担 当 課 係 名	農 林 課		農 務 係		作成者	雲雀秀人
総 合 計 画 で の 位 置 づ け	施策の大綱	特色ある資源を活かした産業創造のまち				総合計画の ページ
	基本計画	特色ある農業の振興				
	主要施策	営農体制の整備				62
予 算 費 目	一般 会計	6 款 農林水産業費	1 項 農業費	3 目 農業振興費		
事 業 期 間	平成 18 年度 ~ 平成 22 年度			新規 / 継続の区分		継続
性 質 区 分	☐ 市民サービス ☐ 公共事業 ☐ 施設維持管理 ☒ 補助金 ☐ 内部管理					
根 拠 法 令 等	目指せ “ 元気な担い手 ” 農業夢プラン応援事業実施要綱					
事 務 区 分	☒ 自治事務 ☐ 法定受託事務					
運 営 方 法	☒ 直 営 ☐ 直営（一部民間委託） ☐ 民間委託(全部) ☐ 補 助					

【事務事業の実施内容】

事業の対象 （誰のため・何を）	認定農業者・農業法人・集落営農組織
事業の目的・意図 （どういう状態にしたいのか）	経営体が、効率的かつ安定的な経営となることを目的とする。
事業の内容 （どのような業務、活動を行うのか）	戦略作物の産地拡大を図るため、機械・施設の導入を支援する。

【事務事業の推移】

	項 目			単位	18年度実績	19年度実績	20年度実績	
効果	活動指標	補助交付団体数	目標	団体	17	23	20	
			実績	団体	17	23	20	
			達成度	%	100.0%	100.0%	100.0%	
	成果指標	導入戦略作物数	目標	品目	7	7	4	
			実績	品目	7	7	4	
			達成度	%	100.0%	100.0%	100.0%	
投下コスト	項 目		総事業費		18年度決算額(千円)	19年度決算額(千円)	20年度決算額(千円)	
	事業費（人件費を除く）(A)				14,705	30,242	30,541	
	人 件 費 (B)		—		2,356	2,421	2,378	
	職 員 数		—		0.30	0.30	0.30	
	職 員 平 均 人 件 費		—		7,853	8,071	7,925	
	(A) + (B) 投下コスト				17,061	32,663	32,919	
	財源内訳	国 庫 支 出 金						
		県 支 出 金				9,806	20,166	20,363
		地 方 債						
		そ の 他						
		一 般 財 源				7,255	12,497	12,556
単位コスト	活動指標1単位当たりコスト(円)		—		1,003,588	1,420,130	1,645,950	
	市民1人当たりのコスト(円)		—		535	1,039	1,060	

【事務事業の今までの成果】

補助交付団体数の内訳：

(1 8 年度) 組織経営体	5 件	個別経営体	1 2 件
(1 9 年度) 組織経営体	7 件	個別経営体	1 6 件
(2 0 年度) 組織経営体	7 件	個別経営体	1 3 件

【事務事業を取巻く環境】

国・県・他自治体の動向	県単独事業。継続の見込み
事業に対する市民の意見 (事業に対する期待、要望、苦情等)	2 1 年度 2 8 経営体より要望あり。

【一次評価】

判 定	事 業 の 方 向 性	判 定 に 至 っ た 理 由
A	A 現状のまま継続（実施）	県が平成 2 2 年度まで事業継続の予定であり、又戦略作物の経営面積拡大を図る組織や個別農家からの要望もあり A と判断した。
	B 1 見直しの上で継続（拡大）	
	B 2 見直しの上で継続（手段改善等）	
	B 3 見直しの上で継続（縮小）	
	C 1 大幅な見直しの上で継続（拡大）	
	C 2 大幅な見直しの上で継続（手段改善等）	
	C 3 大幅な見直しの上で継続（縮小）	
	D 休止・廃止（統合を含む）を検討する事業	
	E 終了（完成及び目的を達成し終了した事業）	

一次評価の判定が B ～ D のときは、下記に必ず記入すること。

【具体的な今後の取組内容（改善の方向性、対象、意図、手段等について記載すること。）

【二次評価】

判 定	判 定 に 至 っ た 理 由
A	農業法人等の経営の安定化に向けて必要な事業であり、継続すべきと考えます。

一次評価診断図

